

# 令和6年度 第68回県政に関する世論調査 の結果について

令和7年7月  
千葉県健康福祉部 健康づくり支援課



# 令和6年度 第68回県政に関する 世論調査の結果について

(令和7年5月27日公表)

## ○調査の概要

対 象：県内在住の満18歳以上の個人3,000人

調査時期：令和6年11月19日～12月13日

調査方法：郵送法・オンライン調査法の併用

抽出方法：層化二段無作為抽出法

## ○調査内容

1 県民意識調査：経年変化を調査

2 県政の主要課題：主要計画策定や見直し等の基礎資料

## ○回収結果

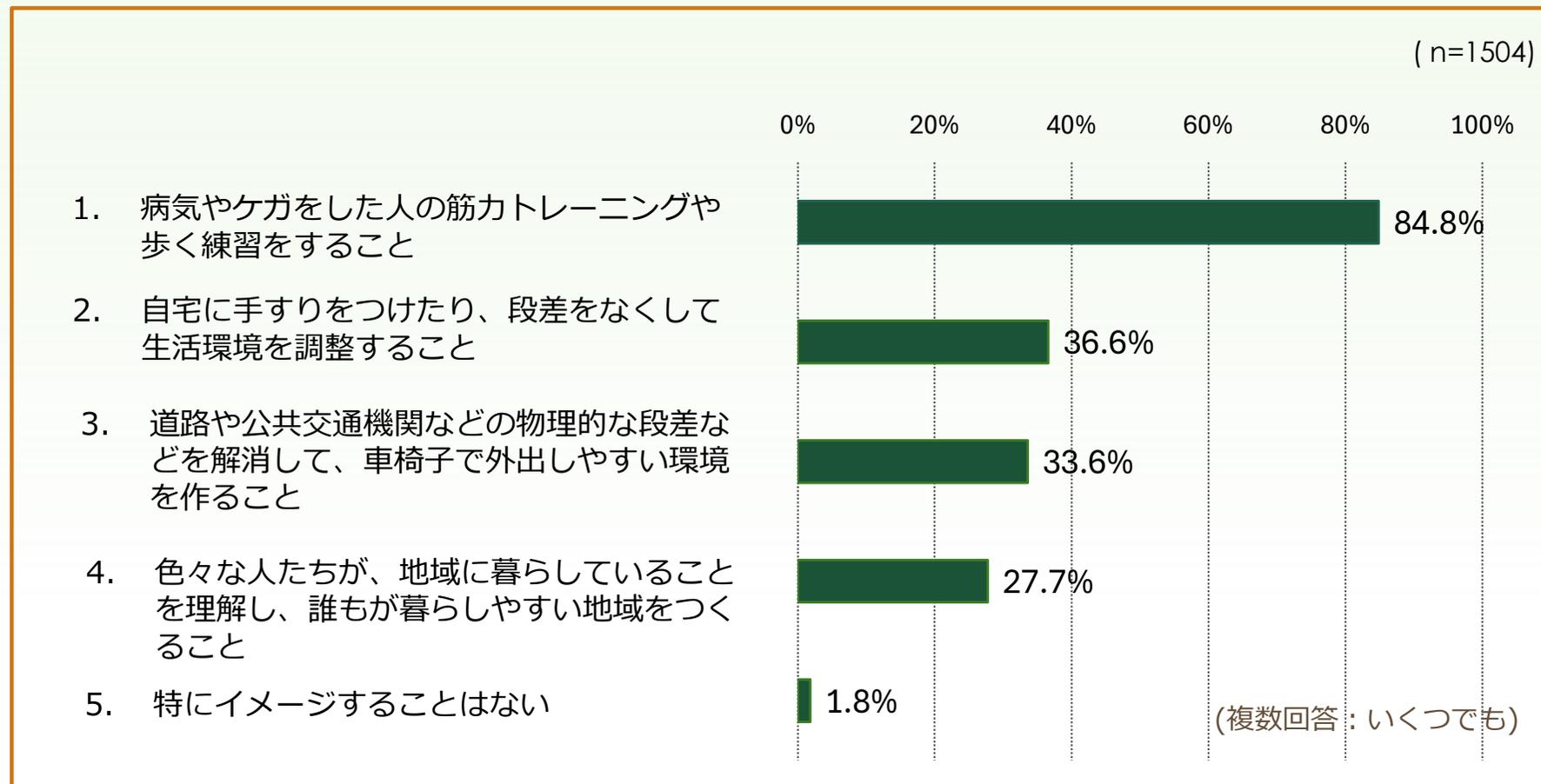
有効回収数（率） 1,504（50.1%）

うちオンライン回収数（率） 531（35.3%）

## (問 3 1) 「リハビリテーション」の言葉のイメージ

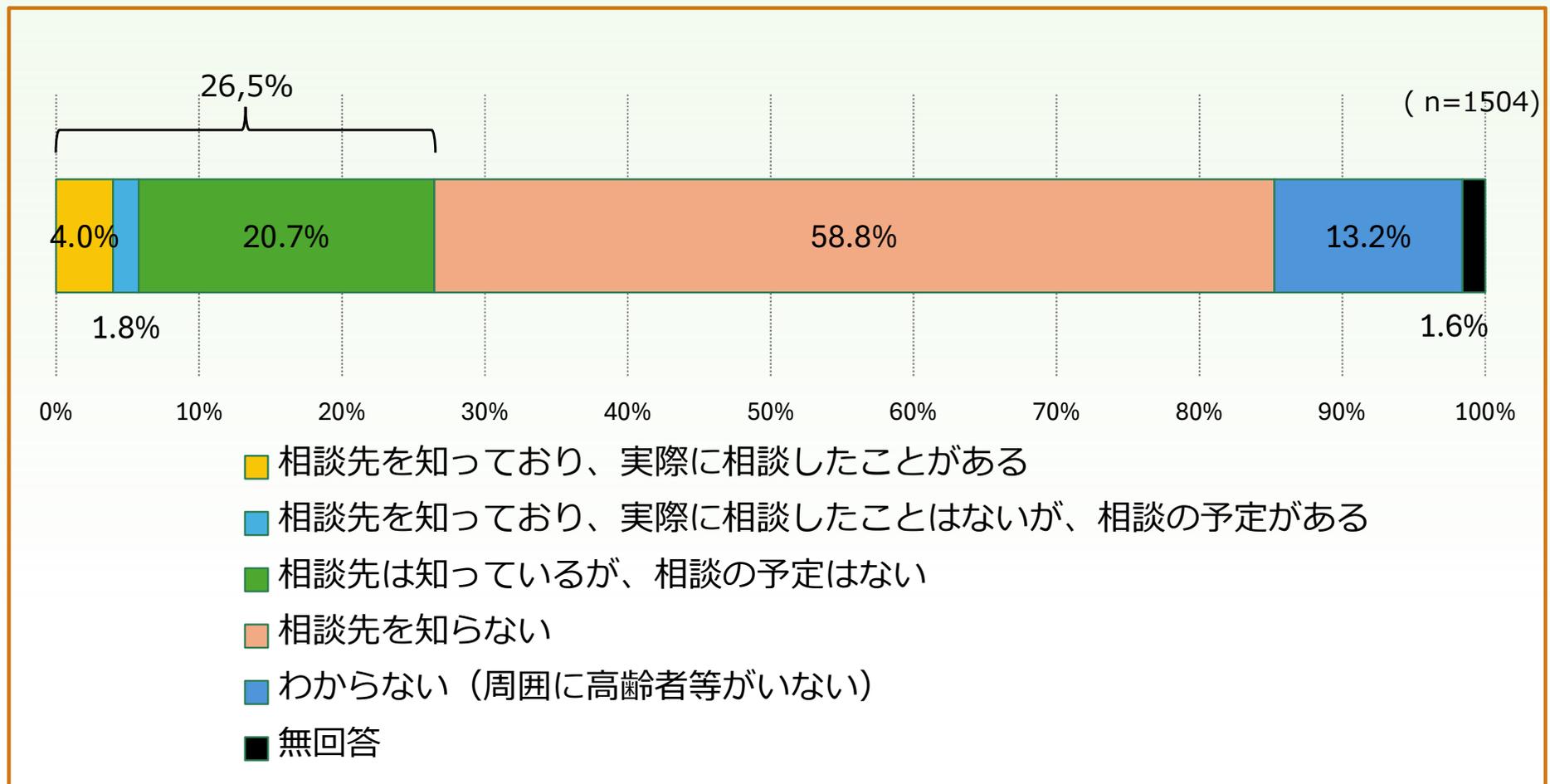
「リハビリテーション」は、本人に対して行われる機能訓練的な狭義の意味と捉えている人が多いと考えられる。

環境づくりも含む概念であり、更なる普及・啓発を行う必要性がある。



## (問 3 4) 障害のある人や高齢者が、災害時に備えた事前の相談場所、相談の有無

「相談先を知っている(計)」は2割台半ばと高い数値ではない。相談先を必要としている人が適切に相談先と繋がれるよう支援を行う必要がある。



## (問34-1) 災害時の不安や困りごとの相談先

身近な存在であるケアマネージャーや相談支援事業所などを対象とした研修や相談先の周知等が有効な手段と考えられる一方で、日常の支援者は災害時の支援のプロではないので、平時のサービス提供者に有事の際の対応について情報提供等を行うことも重要と考えられる。

